

崩壊熱評価ワーキング・グループ
サブ・グループ 会合議事録

日 時 昭和55年 5月 9日 13:30—17:00
場 所 原研東海研
出席者 松本, 井原(原研), 中嶋(法政大)

議 題

1. gross theory のパラメータ Q_{00} について
PROFP で処理した既知データに合わせるように Q_{00} を求めた吉田(NAIG)の結果に基づいて, Q_{00} の系統性を中嶋が求め, これを用いて未知データの半減期, $\langle E_{\beta} \rangle$, $\langle E_{\gamma} \rangle$ を吉田が計算することにした。結果は, 5月20日頃までに提供する。
2. yieldデータの処理について
 - i) Rider - Meek の表にある isomer が, その後の実験で否定された場合, 討論の結果, 前回の方法を変更して, なくなった isomer の independent yield をその基底状態の yield に加える。
 - ii) Rider - Meek の表にない isomer が, その後の実験で見出された場合, 松本が調べた spin による振分けの系統性 (Madland のルール) によって, 基底状態の independent yield を割りふることにする。spin がわからないものについては半々に割りふる。
 - iii) Rider - Meek の表にない Z のより小さい核種については, 前回と同じように, 荷電分布を gauss 型にとって, 既知のものの中で最も小さい Z の cumulative yield を, より小さい Z に割りふる。
3. D-CHAIN 用ライブラリーの作成
 - i) Rider - Meek のデータに, 新しく作った中性子捕獲断面積データと, 吉田の計算する半減期, $\langle E_{\beta} \rangle$, $\langle E_{\gamma} \rangle$, とを加えて5月中に井原が作る。
 - ii) i) のライブラリー (Rider - Meek のデータを使った) に対して核種および分岐比の修正を加えて, JNDC ライブラリーを作成する (6月中

旬まで)。核種の変更は中嶋が，yieldの割りふりは松本がそれまで行い，分岐比のデータはPROFP output file からとる。

JNDCのD-CHAIN用ライブラリーの最終的チェックを6月末までに井原が行なう。

4. 結果のまとめについて

時間切れのため議論は次回に持込し。

5. 次 回

6月6日に行なう予定であるが，作業の進捗状況によっては5月29日か30日も予定する。